

「矢臼別演習場周辺まちづくり構想(実施計画原案)」に寄せられた意見に対する別海町の考え方について

平成30年2月13日から3月14日まで、「矢臼別演習場周辺まちづくり構想(実施計画原案)」に係るパブリックコメントを実施したところ、1団体4個人21件のご意見・ご提案をいただきました。

寄せられたご意見等を公表するとともに町の考え方を示します。

なお、提出されましたご意見等については、原文を尊重し掲載しておりますことを申し添えます。

No.	提出された意見	町の考え方
1	周辺道路等の安全面について 冬の除排雪について～ 駐車場が建物を取り囲んでいるが、冬の除排雪は大丈夫なのか。周りに商業施設もあり、生涯学習センターが開館するまでに除排雪をするのは、危険が伴い厳しいのではないか。 北側の道道は通学路にもなっているので、子ども達の通学に影響が出ないようにしてほしい。	除排雪作業に当たっては、安全管理を徹底して事故防止を図るとともに、駐車場内に長期間にわたり雪が残らないよう早期の排雪作業に努めます。 また、小学校の通学路の安全についても十分に配慮していきます。
2	周辺道路等の安全面について 安全な通路の確保について～ 小学校に行く子ども達がここを通るが、大型車両も出入りするので、子ども達が危険なところを通って学校に行くのは不安を感じる。何かあってからでは遅いので、子ども達がここを通らなくてもいける通路を確保してほしい。	通学路の変更については、学校との協議が必要となりますが、小学校の通学路の安全については十分に配慮していきます。
3	周辺道路等の安全面について 町道の横断について～ 3館一元化で管理するとなると、町道(町道別海南2条通線)の横断が危険だと思う。現在でも、イベントがあった時などは危険だなと感じているので、その辺を整備し事故が起きないように考えてほしい。	大ホールや多目的広場でのイベント時など多くの人が集まる際には、道路の横断や駐車場内での人の移動も多くなることが想定されることから、安全面については十分に配慮していきます。
4	周辺道路等の安全面について 人の出入りに対する安全について～ 商業地が近く、今以上に人が集まると思うので、子ども達の安全面が不安である。大きな催し物の時は、駐車場の警備員などの配慮をお願いしたい。	大ホールや多目的広場でのイベント時など多くの人が集まる際には、道路の横断や駐車場内での人の移動も多くなることが想定されることから、安全面については十分に配慮していきます。
5	駐車場について 駐車場の駐車台数が多少少なくなっても、一般	高齢者の方の利用も考慮し、基準よ

	車の一台の駐車スペースを通常より大きめに確保し、高齢者も楽に駐車できるようにしてほしい。	りも広めスペースを確保するよう検討していきます。
6	3館連携について 5館連携について～ 3館連携の運営に当たっては、3館だけでなく、図書館・郷土資料館も含めた5館でどのように運営していくか計画を立ててほしい。（例えば図書館の古本市を生涯学習センターでの開催や図書館の視聴覚室もホールの1つと考えるなど）	「ぷらと」「マルチメディア館」を含めた3館の諸室管理を一元化し、3館の諸室を共有することで、それぞれの施設の利便性の向上を図ることとしています。図書館・郷土資料館など他の公共施設も含めた運用についても検討していきます。
7	3館連携について 「ぷらと」の使用規制について～ 現在「ぷらと」の使用規制が厳しくて使いにくい。	「ぷらと」「マルチメディア館」を含めた3館の諸室管理を一元化し、3館の諸室を共有することで、それぞれの施設の利便性の向上を図っていきます。
8	3館連携について 施設の運用について～ 3館そろった施設があれば活用は何とでもなる。建物を建てたが、使う人がうまく使えないでは話にならないので、フル活用できるようみんなで一生懸命考えていきたい（考えてほしい）。	「ぷらと」「マルチメディア館」を含めた3館の諸室管理を一元化し、3館の諸室を共有することで、それぞれの施設の利便性の向上を図っていきます。
9	世代間の交流の場について 一年生から高校生までがある程度一緒になって遊べる場所（建物の外も考えて）を造ってほしい。建物を造ってからどんな交流が行えるかではなく、今から、何を行ったら良いかをと考えながら進行し、地域の見本となるような形を町が率先してつくってほしい。	集いの場としてはホワイエがその役割を担うことで考えていますが、交流の場づくりについては、施設内だけではなく、多目的広場も含めた中で活用方法も含め検討していきます。
10	別海町をイメージできる物について 建物でも、外構にでも良いので、別海町をイメージできる物を取り入れてほしい。（図書館のステンドグラス参考）	いただいた意見を参考に、実施設計の中で検討していきます。
11	音響反射板・照明について 音響反射板・照明などは、例えば反射板を手動にするのか電動にするのかによって維持管理費が大きく変わってくる。数年後のことを考えて上手に選択してほしい。	音響反射板については電動で計画しているところですが、設備の選定に当たっては、実施設計の中で維持管理費も考慮し検討していきます。

12	維持管理費について 造ってしまってから、色々な設備があるのに維持管理費がかかるから使えないということにならないように経費節減を考えて造ってほしい。	設備等の選定に当たっては、実施設計の中で維持管理費も考慮し検討していきます。
13	大ホールについて 計画の中に入っているかと思いますが、舞台で進行中の映像が控室あるいは着替え室でテレビで見れるようにしてほしいです。	舞台の様子については、I T V 設備を整備することで、控室等でも舞台の映像を見ることができるよう計画しています。
14	ユニバーサルデザインについて ユニバーサルデザインの採用計画ということですが、これからの建築物には当然と考えます。	本施設の整備に当たっては、「実施計画原案 第 10 ユニバーサルデザイン計画」にあるように、できる限りすべての人に使いやすい施設とするため、ユニバーサルデザインを採用することで、高齢者や障がい者等の利用に十分に配慮していきたいと考えています。 ※ユニバーサルデザインとは 障害の有無や年齢、性別、人種などにかかわらず、全ての人々が利用しやすいように製品やサービス、環境をデザインすること
15	駐車場について 通行幅を十分にしてほしいです。駐車場内の通行幅が十分でないと、事故も起こりやすいと考えます。	駐車スペースや駐車場内の車路の幅員については、利便性、安全面について十分に配慮していきます。
16	維持管理費について 維持管理ができるだけシンプルで低経費でできるように希望します。	設備、仕様等の選定に当たっては、実施設計の中で維持管理費も考慮し検討していきます。
17	運営方法について 3 館の諸室を一元化して共有する運営方法は、必ず実現してほしいです。利用手続きが不便では、利用者数も減ると思います。低年齢の人から高齢者までが気軽に利用できる料金体制も配慮願います。	「ぶらと」「マルチメディア館」を含めた 3 館の諸室管理を一元化し、3 館の諸室利用状況を共有することで、それぞれの施設の利便性の向上を図っていきます。 施設の使用料等についても、周辺施設と整合性を図りつつ、利用しやすい料金体制を検討していきます。

18	施設設備について ・搬入口、10tトラック後方侵入可能にすべし ・搬入口、屋根が必要 ・搬入口、プラットフォーム化	搬入スペースは、荒天時の利用も考慮し、車両を施設内部に入れて、積み下ろし作業が可能なよう想定しています。 また、大型車の後退駐車は、駐車場の一部を車止めすることで対応可能なものと考えています。 なお、荷物の積み下ろし場所については、作業者の負担が軽減されるよう実施設計の中で検討していきます。
19	施設設備について ・ホール用2階席へのエレベーターが必要である ・ステージは昇降ステージにしてほしい	ホール利用者の2階への移動は、ホワイエに併設される階段を基本としています。事務室横エレベーターも利用できるよう誘導計画について検討するとともに、車椅子席等の配置について考慮します。 また、舞台床の昇降機構については、今後の利用想定の実体化において検討していきます。
20	部屋の配置について ふれあいいきいきサロンは計画の説明をみてとても良かったと思いましたが、高齢者や障害者が気軽に集まる場が2階では現実的ではないと思われます。 たとえエレベーターが有ったとしても気軽に行くには不便です。ぜひ1階にお願いしたいと思います。 調理実習室は作った食事を大ホールに運んで食べることは平素ではないことと思いますので2階でも良いと思います。 調理実習室で作った料理はその場で食べることで良いと思いますので、スペースの問題であればチェンジできればと思います。 ご検討をお願いいたします。	各諸室の配置については、面積や使い方を踏まえ決定しています。 ふれあいいきいきサロンについては、高齢者や障がい者等が体を動かすことや交流などの活動を進めるためのスペースを確保した結果、1階に配置することが困難であったことから、2階に配置する計画としています。 調理実習室については、現在の中央公民館で行われている「すくすく学級」などの公民館行事では、飲食を通じた教育活動も行われていることから、引き続き生涯学習センターにおいても、大ホールへの配膳を想定しています。また、施設と隣接する多目的広場（駐車場）とを一体でイベントを開催するときには、提供する飲食物の一部の調理を調理実習室で可能としたいと考えているため、1階に配置する計画としています。

21	意見の聴取について 今回のパブリックコメントは計画図面も出ていますので、利用する親子や高齢者団体、日ごろ利用している人たちに公聴会をして意見を聞かれたらいかがかと思います。 長い間使われる生涯学習センターがより良い建物になりますようにたくさんの町民の意見が反映されますようによろしくお願いいたします。	実施計画策定に当たっては、町民参加機会としている「住民懇話会」や各関係機関の意見をいただいて進めた中で、施設配置などの計画内容を決定しています。 今後、公聴会の開催は予定していませんが、施設内設備の仕様については、関係団体等の意見をいただきながら、より良い施設になるよう検討を進めていきます。